

不妊に対する漢方薬

不妊とは、健康な男女が避妊をしない正常な夫婦生活を送りながら2、3年経過しても妊娠しない場合をいいます。

1人目を産んだ後、2人目を望んで3年以上あいた場合も不妊を疑います。



女性側の原因

- ①ホルモン障害
(無排卵性月経、黄体機能不全など)
- ②器血的障害
(子宮発育不全、子宮内膜症)
- ③卵管障害
(卵管狭窄、卵管閉鎖など)
- ④精神的な原因

男性側の原因

- ①無精子症
- ②精子の数が少ない
(運動能力が悪い)
- ③精管の閉鎖
(精子が通る管がつまる)
- ④精神的な原因

漢方薬にできることは？

- ・卵巣や脳のホルモンの機能障害
- ・原因不明の不妊 などには漢方薬を試してみましょう

特にホルモンバランスが崩れて「冷え」がある状態
「冷え」に対しては西洋薬には手だてがありません。
漢方薬の効果が発揮される場面です。

女性には・・・

- ◎温経湯(うんけいとう)
- ◎当帰芍薬散(とうきしゃくやくさん)
- ◎当帰四逆加呉茱萸生姜湯(とうきしぎやくかごしゆゆしよきしょうとう)
- ◎柴苓湯(さいれいとう)
- ◎加味逍遥散(かみしよほうさん)などが使えます。

男性には・・・

- ◎補中益気湯(ほちゆうえきとう)などがあります。

1人1人の体質、症状によって該当する漢方薬が決まります。
あの人がこの漢方薬でうまくいったから、私もこれで！というわけにはいきません。
昨年度も7人の方が第2子がなかなかできなくて相談にいられました。
それぞれの方が違う漢方薬を飲まれました。
その結果、7人全員にお子さんができました。
ありがたいことです。
冷えを治し、血液循環をよくすることで体の調子は上向きになります。

麻疹(はしか)が流行しています

昨年に続き今年も麻疹が流行しています。
すでに昨年の患者届け出数(232例)を上回りました。
報告のあった患者さんの約80%は予防接種の歴のない、または不明な患者さんです。
幅広い年齢層から届け出がありますが、特にI期の定期予防接種を開始する前の0歳児(30例)、および予防接種歴のない1歳児(23例)、1歳の誕生日の日から麻疹風疹(MR)ワクチンが接種できます(定期接種ですから無料で受けられます)。
大半の方は気にしていられずいますから大丈夫です。

麻疹の症状

- ①38-39℃の高熱
- ②発疹(赤黒い汚い発疹)
- ③咳(必発！)

<合併症>

気管支炎、肺炎、
脳炎(死亡率15%)

忘れず早めに
MRワクチンの接種を!

お知らせ

小児夜間急病センター当番日

5月2日(金) 19:30-22:30(受付)
岐阜市民病院

